

法人(事業所)理念		障がい児が、日常生活における基本的な動作を習得し、集団生活に適應することが出来るよう、当該障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行います。		
支援方針		①できるだけ早い時期からこどもと保護者と関わり、その子の持つ可能性を発揮できるように支援します。 ②一人ひとりの成長に応じた療育で、発達援助を行います。 ③保護者と十分に話し合いを持ち、地域での育ちを大切にしながら一貫した支援が出来るよう、他機関とも連携を図ります。		
営業時間		8時 30分から 17時 15分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容		
本人支援	健康・生活	日々の療育の中で健康的な生活を送ることを目的とし、発達に応じた身辺自立に向けて無理のないように、スモールステップで経験を積んでいけるように支援していきます。保護者と家庭での健康面（睡眠・食事・排泄など）について情報を共有します。一人一人の興味関心に合わせ、発達段階に応じた対応をして成長発達を促します。		
	運動・感覚	リズムに合わせて色々な動きをする活動や、音楽に合わせてみんなで一緒に走ったり歩いたりする活動を楽しみます。様々な運動遊びを設定する中で、身体の使い方や力の加減の仕方を学ぶ機会を作ります。感覚の特性に考慮して、安心して活動に参加出来るよう配慮します。		
	認知・行動	具体的なものや絵カードなどを使った課題に取り組み、形、色、大きさや重さ、物の様子などについて、言葉と結びつけながら学ぶ機会を作ります。数量や数順など数について段階的に学べるようにします。学習したことが日常生活に広がるよう工夫します。		
	言語 コミュニケーション	「聞く」「話す」というコミュニケーションの基盤を作ります。一人一人に合ったコミュニケーションの手段（言葉・指差し、ジェスチャー・絵カード等）を利用し、気持ちを発信しやすいよう配慮し、伝わった喜びが味わえるようにします。言葉を聞いて行動することや、見たものや経験したことを言葉で表現することを学ぶ機会を作ります。		
	人間関係 社会性	集団療育や個別療育を通して他者と共に楽しんで参加出来るよう支援します。活動や遊びの中で、一人一人の強みをたくさん見つけて肯定的な働きかけをすることで、信頼関係を築いていきます。自分の順番を待ったりおもちゃや遊具を交代で使うなど、ルールを学ぶ機会を設けます。自己肯定感を高めたり他者と喜びを分かち合ったり出来るよう、たくさん誉めたり感謝したりします。		
家族支援		・個々の療育時の様子を報告するとともに保護者からも聞き取りをし情報を共有していきます。 ・必要に応じて地域のこども園等や小学校の情報を提供したり見学に同行します。 ・専門家による発達相談の場を提供し困り事への相談支援を実施します。 ・地域の研修会（ペアレントトレーニング等）の情報を提供します。	移行支援	・幼稚園や保育園などの移行先に対し、情報提供や連携を行います。 ・併行通園を実施します。 ・就学に向けて、教育委員会や就学予定先の学校などとの情報共有や情報提供に努めます。
地域支援・地域連携		・地域の他事業所（放課後等デイサービス）への見学会	職員の質の向上	各種研修会への参加
主な行事等		・季節の行事（在宅児対象） ・各避難訓練（随時）		